



にしだ 便り

- いつまでも患者様のすぐそばにある病院でありたい -



新年のご挨拶

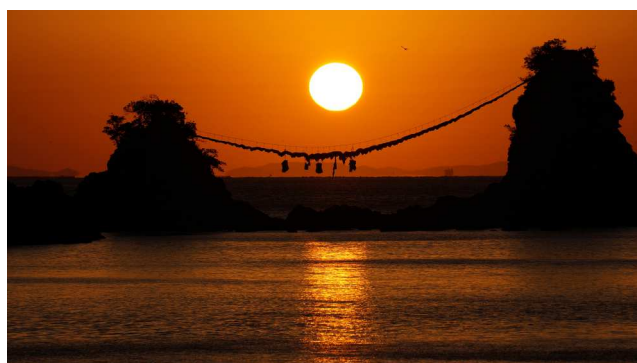
新年明けましておめでとうございます。
皆様には健やかな新年をお迎えになられた事
をお慶び申し上げます。

旧年中は長年の救急医療に関する功績が認められ佐伯市表彰を頂き、市民の皆様には感謝申し上げます。また佐伯市からの委託を受けて病気のお子様がいっても保護者の方が安心して働ける環境作りの一環として病児病後児保育「にしだキッズクラブ」を開園しました。地域の皆様に少しでも貢献できる事は幸いと感じております。さてコスモタウンに移転し、二年が経ちました。その間、当院で診療を受けて良かったと思われる病院づくりを目標に頑張ってきましたが、努力不足のせいかもしれないと充実した医療を提供して欲しいとの厳しいご意見をたくさん頂きました。これを励まし言葉と前向きに受けとめ、3年目をより実のある年にするべく職員一丸となって地域でなるべく医療が

完結できるような病院作りを目指してまいりたいと思っておりますので今年もよろしくお願いいたします。

東九州自動車道の開通に伴い佐伯市が交通、経済、医療の中心になる事を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

理事長 西田 尚史



佐伯市から表彰されました

当院は、このたび、永年にわたり救急救命士及び救急隊員の技術向上に貢献したことが認められ、平成26年11月3日に佐伯市から表彰されました。今回の受賞を励みに、地域の皆さまに少しでも貢献できる病院を目指し、職員一同がんばって参りたいと思います。



西田理事長(左)と西嶋泰義
佐伯市長(右)



診療科紹介

循環器内科

循環器内科は心血管系疾患を中心とした診療を行っています。この中には心臓病だけではなく高血圧、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症、肥満などの生活習慣病が含まれます。生活習慣病を放置すると動脈硬化が進行し、狭心症、心筋梗塞、脳血管障害、慢性腎不全などの重篤な病気を引き起こす原因になりうるため、生活習慣を改善して、適切な治療を受けることが望まれます。特に佐伯市は人口76,971人(平成26年2月)で、九州で一番広い面積をもつ町ですが、65歳以上の高齢化率は31.6%(平成22年9月末)で、大分県平均の26.6%と比較して大きく上回っています。高齢者が健康な生活を送るためには、地元の中核病院である西田病院と我々循環器内科医に課された役割は大きいと考えています。循環器の検査法として心臓カテーテル検査を思い浮かべる方

が多いと思いますが、この検査は入院を必要とする「**侵襲的検査 ※1**」で、専用の設備を必要とするため、どの病院でも出来るというものではありません。しかし、循環器疾患には外来で出来る「**非侵襲的検査法 ※2**」がたくさんあります。我々の病院には、これらの非侵襲的検査法を駆使することにより、高度な治療が必要な患者さんを適切な病院へ紹介するという役割があると考えています。以下に西田病院で現在行われている、もしくは今後実施予定の検査をご紹介します。これらの多くはカテーテル検査と異なり、臨床検査の中でも一般に生理学的検査法と呼ばれる検査法です。



【心臓超音波検査】 (心エコー法)

心臓の形や動きだけではなく、弁逆流や血流速度を超音波で簡便に観察・測定することが出来ます。検査時間は約15分です。この方法では、心臓の血管(冠動脈)の太さまで細かく評価するには限界がありますが、狭心症などの虚血性心臓病や弁膜症の有無と重症度を詳細に観察することが可能です。

【心臓MRI検査】 ※今後、実施予定

磁場を使って心臓の形や動き、冠動脈の太さを調べることが出来ます。心エコー法でもわからなかった冠動脈の太さもある程度調べることが可能です。

【動負荷検査】 (トレッドミル検査) ※今後、実施予定

ベルトの上を歩いてもらう検査です。狭心症や不整脈の中には安静時には異常がないものでも、運動負荷をかけることにより症状が誘発されるものがあります。普通の心電図で「異常なし」と診断された人でも、運動負荷をかけることにより異常を見つけることが出来ます。この検査では心臓病や呼吸器疾患の運動耐用能を評価することも出来ます。

【ホルター心電図】 (24時間心電図検査)

小さなテープレコーダーのようなものを患者さんに24時間装着してもらうことにより、本人が気付かない狭心症発作や不整脈を発見することが出来ます。

【脈波伝達速度】 (ABI検査法)

動脈硬化の程度や血管年齢がわかります。

新入職員紹介

内科医師



ひろせ おさむ
廣瀬 統

少しでも佐伯市の医療に貢献できるように頑張ります。

看護師



つかもと あつし
塚本 睦

1からなので、どこまで続けられるかわかりませんが頑張ります。

看護師



とだか ひろみ
戸高 裕美

頑張りますのでよろしくをお願いします。

看護師



えとう たえこ
江藤 妙子

頑張りますのでよろしくをお願いします。

看護助手



ひらやま かおる
平山 香

患者様が快適に過ごせるように頑張りたいと思います。

看護助手



ひろた まい
廣田 舞

一生懸命頑張ります。よろしくをお願いします。

診療情報管理士



かんだ りつよ
神田 律代

一生懸命頑張ります。宜しくをお願いします。

栄養管理士



にしやま ひとみ
西山 一実

努力して参りますのでよろしくをお願いします。

保育室



みづら ちえこ
三浦 知恵子

一生懸命がんばります。

昨年10月～12月にかけて、入社した新入職員を紹介します。不慣れな点もあるかと思いますが、今後とも、どうぞ温かいご指導・ご支援を賜りますようお願い致します。

クリスマスコンサート

12月18日(木)クリスマスコンサートが開催されました。日頃はなかなか病室から出られない患者様も、この日は看護師やリハビリスタッフの付き添いで1階ロビーへ集合です。ゲストは弥生吹奏楽団の皆様。クリスマスにちなんだ曲から、誰もが知っている日本昔話のテーマソングまで、素敵で愉快的演奏をご披露して頂きました。さらに今年は弥生吹奏楽団とサンタクロースに扮した病院職員が一夜限りのコラボレーション。恋するフォーチュンクッキーをダンスと生歌、生演奏にてお披露目し、会場はこの日一番の盛り上がりを見せました。演奏が終わるとサンタクロースから子どもた

ちへお菓子のプレゼント。入院中の子ども、とびきりの笑顔を見せてくれました。さて、今回で8回目の開催となったクリスマスコンサートですが、毎年多くの方々にご参加頂き誠にありがとうございます。今年もぜひご期待下さい。



2014職員旅行記

11月29日の杉乃井旅行も無事に終わり、今年度予定していた職員旅行は事故もなく無事に終わることが出来ました。今年度は4行程8便に職員179名お子様26名にご参加いただきました。間近で見る動物の迫力に驚いたり、VIP席でスポーツ観戦をしたり、海鮮バーベキューに舌鼓を打ったりと様々な内容で楽しい旅行となりました。来年度も楽しい旅行に行けるといいですね。



くすりのはなし

— 花粉症について —

スギやヒノキなどの植物の花粉が原因で生じるアレルギー症状を「花粉症」と呼びます。症状としては、くしゃみ、鼻水、鼻づまりが主体となります。現在、日本人のおよそ4人に1人が花粉症だと言われています。一般的に、スギ花粉は、九州や関東では1月下旬から、関西では2月上旬から飛び始めます。花粉が飛び始める2週間くらい前から治療を開始することが最も効果的とされています。花粉症治療の基本は、薬を使った対症療法です。花粉症の治療薬には、抗ヒスタミン薬や抗アレルギー薬、鼻噴霧用ステロイド薬などがあります。代表的な副作用としては、眠くなったり、のどが渇いたりするものが挙げられます。薬を服用して体調の変化や生活に支障がでる場合は、医師または薬剤師に相談してください。一方、根

治療法として期待されているのが、「アレルゲン免疫療法」です。花粉症の原因となっている物質(=アレルゲン)を少ない量から取り入れ、徐々に増やして、免疫を獲得しようという治療法です。花粉に反応する体質自体を変えていこうという考えです。また、花粉の飛散シーズン中には、花粉症の症状悪化を防ぐため、マスクやメガネを着用などできるだけ花粉に接触しないよう工夫しましょう。また症状が出る前から、治療を始めることが大切です。



(文責 薬剤部 山崎 悠)

* 職員募集 *

西田病院では職員(看護師 薬剤師 作業療法士)を募集致しております。見学等随時受付けておりますので、どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先TEL0972-22-0180(代表)

看護部 担当 二宮

薬剤部 担当 菅田

リハビリテーション部 担当 池田



〒876-0047大分県佐伯市鶴岡西町2丁目266番地

医療法人慈恵会 西田病院

TEL0972-22-0180 FAX0972-22-7281

<http://nisida-med.jp>

Email info@nisida-med.jp

発行元 西田病院 広報委員会